学習目標の目安

レベル	初級		中級			上級		
	初級 I	初級 II	中級 I	中級 II	中級III	上級 I	上級 II	上級III
日本語教育の参照枠	A1	A2	B1	B1	B2	B2	B2	B2
JLPT目安	N5	N4	N3	N3〜N2	N2	N2〜N1	N1	N1
読解	短く簡単なテクストを身近な単語や表現を取り上げながら、一文一節ずつ理解できる。 日常的で身近な話題について、ひらがな・カタカナ・基礎的な漢字で書かれた非常に短い簡単な文が、理解できる。	日常的かつ具体的で身近な事柄について、短い簡単なテクストを理解することを目指す。 日常的で身近な場面で頻繁に目にする情報（案内、掲示、警告）が理解できる。 簡単な短い通信文が理解できる。	身近で簡単な文を読んで、主題が理解できる。 簡単な通信文や案内文を読んで、事実関係や必要な情報を理解できる。	主題や書き手の気持ちや事実関係の概要が理解できる。 簡単な通信文や案内文を読んで、必要な情報に加え、事実関係の概要を理解することができる。	日常生活や自分の専門分野及び社会的な話題に関する文章や興味のある分野に関連した通信文から、自分にとって必要な情報を得ることができる。 通信文を読み、形式を学び、情報を効果的に収集できる。	日常生活や自分の専門分野及び社会的な話題に関する文章や興味のある分野に関連した通信文から自分にとって必要な情報を得る為の効果的な読み方ができる。 自分の専門分野の資料から、情報、考え、意見を読みとることができる。 通信文を読み、形式を学び、情報を効果的に収集できる。	日常生活や自分の専門分野、及び社会的な話題のやや複雑な文章を読むことができる。 やや複雑な文章から必要な情報を効果的、かつ正確に収集することができる。	*至活や専門や社会的な話題で、関心のある事柄に関する複雑な文書を読むことを目指す。* 複雑な文章から論理展開を理解できる。 自分にとって必要な情報を得る為の効果的な読み方ができる。
聴解	日常的な場面（教室や身の回りなど）のやりとりを聞いて、具体的な必要性を満たす程度に理解できる。 日常的な場面において、ゆっくりはっきり話された簡単な指示や質問が理解できる。	日常的で身近な場面において、ゆっくりと話された簡単な通知や会話が概ね理解できる。	身近な話題について共通語ではっきりと話されたまとまりのある話を聞いて、要点が理解できる。	関心のあるテーマに関する共通語で話されたまとまりのある説明を聞いて、要点が理解でき、重要なことを箇条書きにすることができる。 身近なやり取りを聞いて、要点や重要なことが理解できる。	生活や専門や社会的な話を聞いて共通語であれば要点が理解できる。 自分の専門分野の議論において、共通語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、要点が理解できる。	生活や専門分野に関する話や社会的な話を聞いて、共通語であれば要点を理解でき、長い話や複雑な流れも理解できる。 自分の専門分野の議論において、共通語で話されれば、抽象的な話題でも具体的な話題でも、要点が理解できる。	生活や専門や社会的な話を聞いて、共通語であれば要点が理解でき、長い話や複雑な議論の流れも理解できる。 複雑な講義、話、報告、専門的なプレゼンテーションの要点が理解できる。	複雑な講義、話、報告、専門的なプレゼンテーションの要点が理解できる。 熟達した日本語話者同士の会話が、俗語や慣用句の確認ができれば、理解できる。
記述	自分に関する情報についてひらがな、カタカナ、日常的な漢字を使い、ごく簡単な問合せや回答を書いたり、ごく簡単な手続き上の記入ができる。 自分自身や家族について、どこに住んでいるか、何をしているのかについて、簡単な句や文を書くことができる。	自分に関する簡単な事実関係について、ひらがな、カタカナ、基本的な漢字を使い、日常生活に必要な問い合わせ文が書ける。 病院や役所などの定型書式の簡単なものに氏名、国籍、住所など簡単な情報を記入できる。 自分の周りにある日々のいろいろな事柄（学校生活、住居環境、学習経験など）について、簡単な句や文を連ねて書くことができる。	身近な話題について、幾つかの要素を組み合わせて一つの流れに結び付け、簡単な文章を書くことができる。 自分が関心を持つ身近な話題について、詳しく記述することができる。	自分に関する身近な話題について、複文を使い、ある程度まとまりのある文章を書くことができる。 日常的な事実や理由を説明するための短い文章（メールなどの通信文を含む）を書くことができる。	自分が関心を持つ様々な話題において、明瞭、詳細な文章を書くことができる。 論理的な文章を書くための段落や構成を考えることができる。	生活や専門や社会的な話題について、自分の専門の観点から、適切な語彙を使用し、複数段落に分かれた論理的な文章で自分の考えが伝えられる。 進路に関連する相手先に対して、一般的な問い合わせの文が書ける。	生活や専門や社会的な話題について、自分の専門の観点から、適切な語彙を使用し、複数段落に分かれた論理的な文章で自分の考えが伝えられる。 進学に関する自分の状況について相談する文を書くことができる。	生活、専門、社会的な話題について、自分の観点から、適切な語彙を使用し、複数段落に分かれた文章で自分の考えが伝わる文章が書ける。 進学後を想定し、論拠、論点を展開し、レポートや小論文を書くことができる。
発表	自分や他人に関するごく簡単な紹介を、単純な語句を並べて、発表することができる。	自分に関する紹介を、嗜好や興味や身近な人などのことを含め、単純な表現で発表することができる。	自分の経験や出来事など事実に関することについて簡潔に、ある程度の長さで発表できる。	社会的事情や課題に目を向け、基本的な情報を集めた上で自分の意見を持ち、発表することができる。 自分の経験や出来事など事実に関すること、卒業後の希望など夢や希望、野心について、理由とともに発表することができる。	自分の興味のあること（本や映画、最近のニュース）について、概要をわかりやすく説明し、自分の感想や意見を発表の形式で伝えることができる。 聞き手に伝わりやすい構成を考えながら、自分の考えを整理し、表現することができる。	自分の関心のある分野に関連した、広範囲的な話題について、明瞭、かつ詳細なプレゼンテーションができる。 プレゼンテーションに必要なパフォーマンスを身に着け、実行できる。	関心のある時事問題について、自分の考えを多角的に整理し、聞き手にわかりやすく伝えるプレゼンテーションができる。相手の理解を意識しながら、説明ができる。	専門性が高い話題や社会的課題について、背景や要点を的確に理解し、自分の意見や考えを整理して、論理的に発表する力を養う。 資料やデータなどを適切に活用しながら、聞き手にわかりやすく伝えることができる。
会話	簡単な挨拶を交わすことができる。 自分や身近なことに関するごく簡単な質問に答えたり相手に聞いたりする、ごく短いやり取りができる。	自分に関することや興味があることについて、簡単なやり取りができる。 簡単な誘いや提案のやり取り、相手の意見に賛成や反対を適切に伝えることができる。 簡単で日常的な事柄に関する情報交換ができる。	身近な話題に関して、丁寧な言い方で、事実を伝えたり、質問に応じることができる。	課題対応の為の話し合いに参加し、簡単に自分の意見を伝えたり、相手からの意見に丁寧に応じることができる。	インタビューを滑らかに効果的に受けたり、行うことができる。 相手の返答を取り上げ、場合によっては用意していた質問内容を変えるなどその場に適した流れで、興味深い答えを引き出すことができる。 相手との関係や年齢に応じた言葉で適切なやりとりができる。	幅広い話題について、ふさわしい表現や語彙を使ったり誤解を生まない正確な言い方で伝えたり、相手の意見を正確に理解して、やり取りすることができる。	幅広い話題について、適切な言葉や表現を用いて効果的に自分の考えや相手の考えについて、詳細を含めて適切に自然に流暢にやり取りすることができる。	幅広い話題に関する複雑なやり取りで、適切な言葉や表現で、相手の理解に応じて調整しながら、詳細にやり取りすることができる。 複雑な対抗意見に適切に対応できる。
基礎 日本語/ 応用 日本語	基本的な日本語をある程度理解することができる。 行動目標を遂行するために必要なごく基礎的なやりとりをし、日常生活の課題が遂行できる。 予習復習の習慣を身に着け、自律的に学習していくための方略を身に着ける。 自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をすることができる。	基本的な日本語を理解することができる。 行動目標を遂行するために必要なやり取りをし、日常生活の課題が遂行できる。 予習復習の習慣を身に着け、自律的に学習していくための方略を身に着ける。 日常的で簡単な質問をすることに加え、質問を受け、その場でごく簡単に答えたり、聞き返したりすることができる。	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。 日常的な場面で目にする難易度がやや高い日本語も言い換え表現などを使いながら運用することができる。 N3レベルの身近な漢字語彙や慣用句について、意味、形、読み方を理解し、短い文が書ける。 仕事、学校、地域でふだん出合うような身近な話題について、共通語による話し方であれば、質問をしたり、簡単な説明を聞いて、会話のやりとりができる。	日常的な場面で使われる日本語を詳細まで理解することができる。 日常的な場面で目にする難易度がやや高い日本語も言い換え表現などを使いながら運用することができる。 N3レベルの身近な漢字語彙や慣用句について、意味、形、読み方を理解し、短い文が書ける。 地域の人々との関わりを持つことで、社会に参加し、地域社会への理解を深めることができる。	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。 場面や状況に合わせて適切な文型を選択し、その場に適した自然な日本語を使用することができる。 専門の勉強や生活場面で、読む、書くという必要性があるN2レベルの漢字語彙や慣用句について、意味、形、読み方を理解し、それを用いたやや複雑な文が書ける。 相手の文化や習慣、気持ちを汲んだ上で、適切なコミュニケーションがとれる。	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。 場面や状況に合わせて適切な文型を選択し、その場に適した自然な日本語を使用することができる。 専門の勉強や生活場面で、読む、書く、という必要性があるN2レベルと一部N1レベルの漢字語彙や慣用句について、意味、形、読み方を理解し、それを用いた簡単な文が書ける。 言語使用の際にこれまでの学習項目と紐づけながら効率的に日本語を覚えていくことができる。 専門学校の授業を体験し、自分の日本語力の振り返りをし、自律的に学習計画が立てられる。	幅広い場面（日常、進路活動、進学先など）で使われる日本語を理解することができる。 場面や状況に合わせて適切な文型を選択し、その場に適した自然な日本語を使用することができる。 専門の勉強や生活場面で、読む、書く必要性があるN1レベルの漢字語彙や慣用句について、意味、形、読み方を理解し、それを用いた簡単な文が書ける。 論説や小論文を読む中で、N1レベルの語彙の意味や用法の推測ができる。 言語使用の際にこれまでの学習項目と紐づけながら効率的に日本語を覚えていくことができる。 熟達した日本語話者との対話でも、一般的、学術的な話題について、必要な情報を得ることができる。	幅広い場面（日常、進路活動、進学先など）で使われる日本語を理解することができる。 場面や状況に合わせて適切な文型を選択し、その場に適した自然な日本語を使用することができる。 専門の勉強や生活場面で、読む、書く必要性があるN1レベルの漢字語彙や慣用句について、意味、形、読み方を理解し、それを用いた簡単な文が書ける。 論説や小論文を読む中で、N1レベルの語彙の意味や用法の推測ができる。 言語使用の際にこれまでの学習項目と紐づけながら効率的に日本語を覚えていくことができる。 社会についての理解を深め、地域社会との関わりを意識し、社会に参加することができる。
文字 語彙	行動目標を遂行するために必要なごく基礎的な言葉の理解と運用ができる。 基礎的な漢字の読み書き・意味理解を通して、日常生活に必要な限定的なN5レベルの漢字の意味を理解し場面に応じた表現ができる。	行動目標を遂行するために必要な基礎的な言葉の理解と運用ができる。 基本的な漢字の読み書き・意味理解を通して、日常生活に必要な限定的なN4レベルの漢字の意味を理解し、場面に応じた表現ができる。						
学習 マネジメント	学期開始時に、現在の日本語レベルの客観的把握とそれを踏まえた学期の目標、目標達成のための方略を自律的に考え、計画を立てることができる。 学習後、振り返りを行い、自分の学習について客観的、内省的に理解することができる。	学期開始時に、現在の日本語レベルの客観的把握とそれを踏まえた学期の目標、目標達成のための方略を自律的に考え、計画を立てることができる。 学習後、振り返りを行い、自分の学習について客観的、内省的に理解することができる。	学期開始時に現在の日本語レベルの客観的把握とそれを踏まえた学期の目標、目標達成のための方略を自律的に考え、計画を立てることができる。 立てた目標を日本語を用いて、学習者同士で共有することができる。 学習後、自分で振り返ることに加え、学習者同士での相互評価を行い、自分の学習について客観的、内省的に理解することができる。	学期開始時に、現在の日本語レベルの客観的把握とそれを踏まえた学期の目標、目標達成のための方略を自律的に考え、計画を立てることができる。 立てた目標を日本語を用いて、学習者同士で共有することができる。 学習後、自分で振り返ることに加え、学習者同士での相互評価を行い、自分の学習について客観的、内省的に理解することができる。	学期開始時に、現在の日本語レベルの客観的把握と希望進路を踏まえた学期の目標、目標達成のための方略を自律的に考え、計画を立てることができる。 立てた目標を日本語を用いて、他者に説明できる。 学習後、自分で振り返ることに加え、学習者同士での相互評価を行い、自分の学習について、客観的、内省的に理解することができる。	学期開始時に、現在の日本語レベルの客観的把握と希望進路を踏まえた学期の目標、目標達成のための方略を自律的に考え、計画を立てることができる。 立てた目標を日本語を用いて、他者に説明できる。 学習後、自分で振り返ることに加え、学習者同士での相互評価を行い、自分の学習について、客観的、内省的に理解することができる。	学期開始時に、現在の日本語レベルの客観的把握と希望進路を踏まえた学期の目標、目標達成のための方略を自律的に考え、計画を立てることができる。 立てた目標を日本語を用いて、他者に説明できる。 学習後、自分で振り返ることに加え、学習者同士での相互評価を行い、自分の学習について客観的、内省的に理解することができる。	学期開始時に、現在の日本語レベルの客観的把握と進学先で必要となる日本語能力を踏まえた学期の目標、目標達成のための方略を自律的に考え、計画を立てることができる。 立てた目標を日本語を用いて、他者に説明できる。 学習後、自分で振り返ることに加え、学習者同士での相互評価を行い、自分の学習について、客観的、内省的に理解することができる。
標準期間及び合計授業時数	10週 ・ 計192授業時数	10週 ・ 計192授業時数	10週 ・ 計192授業時数	10週 ・ 計192授業時数	10週 ・ 計192授業時数	10週 ・ 計192授業時数	10週 ・ 計192授業時数	10週 ・ 計192授業時数

※進歩のためには1日1〜2時間の自習（宿題・復習・予習）を推奨します。